

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (971), 課コード (1005), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with sub-sections for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section for future improvements and directions.

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (972), 課コード (1005), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including objectives, content, and financial details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header.

Main evaluation table with columns for evaluation items, pre-evaluation, post-evaluation, and improvement checks.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header.

Post-evaluation table with columns for current status and improvement directions.

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (973), 課コード (1005), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including objectives, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header.

Main evaluation table with columns for evaluation items, pre-evaluation, post-evaluation, and improvement checks.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header.

Post-evaluation table with columns for current status and improvement directions.

事務事業評価表（令和3年度）

事業コード 1649 課コード 1005 会計種別 一般会計 予算の種類 □政策 □経常 ■なし

1. 事業の概要 (PLAN)
(1) 事業概要
(2) 目的
(3) 事業内容
(4) 達成目標 (期待する成果)
(7) 事業実施上の課題と対応
(8) 施行事項
(9) 財源内訳
(10) 人件費等
(11) 単位費用

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

評価項目: (1) 事業が今必要である理由・背景は? (2) 市が実施する必要性はあるか? (3) 市民の参加や市民との協働を工夫しているか? (4) 環境に配慮して事業を進めているか? (5) 目標設定は適切か? (6) 事業費削減の工夫をしているか? (7) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か?

3. 事後評価

○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ●結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)
評価コメント: 事務事業の見直しによる結合。令和4年度からは消防本部事務事業に結合し一体的に推進していく。
改善策及び展開方向: 令和4年度からは結合後の事務事業の中で一体的に推進していく。

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (1650), 課コード (1005), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including name, objectives, budget, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header.

Main evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes sub-sections for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header.

Post-evaluation details including current status (現状) and improvement directions (改善策及び展開方向).

事務事業評価表（令和3年度）

事業コード	1651	課コード	1005	会計種別	一般会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input type="checkbox"/> 経常 <input checked="" type="checkbox"/> なし
-------	------	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)														
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 消防体制の強化・充実	実施計画への位置づけ	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無		②部課名	消防本部・東消防署							
	③事業主体	●市 ○その他 ()	④対象地区	<input type="checkbox"/> 我孫子 <input type="checkbox"/> 天王台 <input type="checkbox"/> 湖北 <input type="checkbox"/> 新木 <input type="checkbox"/> 布佐 <input checked="" type="checkbox"/> 全市										
	⑤事業期間	～		⑥担当職員数	47人 (換算人数)		9.2人							
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円		当該(開始)年度	(当初)	81,880千円 (うち人件費 81,880千円)		(変更後)	千円 (うち人件費 千円)				
	⑧施策の位置づけ	施策コード	70201	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし		基本計画地区別計画への位置づけ	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無						
(2) 目的	施策目的・展開方向	火災や水害などの災害から市民の生命と財産を守るため、消防施設・装備を充実し、近隣自治体や関係団体と連携を図りながら消防体制の強化を図ります。			事業目的	市民を各種災害から保護するとともに、災害による被害を最小限に防止し市民生活の安全を確保する。								
(3) 事業内容	内容	管内の住宅環境や水利状況、道路事情を把握し、現場到着までの時間短縮を図り、災害による被害を最小限に抑える。 ・我孫子市消防要綱に基づき各種訓練の実施、警防技術の習得及び向上を図る。 ・警防計画の見直し更新する。			当該年度執行計画	7月：中高層建物火災想定警防活動訓練 10月：火災時における警防活動訓練 通年：出場訓練及び警防調査の実施。研修所入校を含め近隣市町で開催される各種講習会に参加。								
		当該年度活動結果指標	8.5分以内での現場到着率 (災害現場まで8.5分以内で到着した件数/災害件数)		単位	%	想定値	100						
(4) 達成目標 (期待する成果)	達成目標 (期待する成果)				指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値				
当該年度	各種災害に対応できる警防体制の確立を図り、市民が安心して生活が出来る街づくりを目指す。				直接	8.5分以内での現場到着率 (災害現場まで8.5分以内で到着した件数/災害件数)		%	69.4	100				
令和4年度	各種災害に対応できる警防体制の確立を図り、市民が安心して生活が出来る街づくりを目指す。				直接	8.5分以内での現場到着率 (災害現場まで8.5分以内で到着した件数/災害件数)		%		100				
令和5年度	各種災害に対応できる警防体制の確立を図り、市民が安心して生活が出来る街づくりを目指す。				直接	8.5分以内での現場到着率 (災害現場まで8.5分以内で到着した件数/災害件数)		%		100				
(7) 事業実施上の課題と対応	都市化に伴う高層集合住宅等の増加により複雑多様化する災害に対応するため、消防体制の維持及び更なる警防体制の確立を図り、装備の充実及び適正な人員配置が必要である。				代替案検討	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無								
(8) 施行事項	実施内容 費用	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度						
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	予算額(千円)	決算額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)
		警防業務 各種訓練の実施	0	0	警防業務 各種訓練の実施	0	0	0	警防業務 各種訓練の実施	0	0	警防業務 各種訓練の実施	0	0
		合計	0	0	合計	0	0	0	合計	0	0	合計	0	0
		予算(決算)額	0		0		0		0					
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	0	0		
県支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	0	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	0	0		
起債	充当率 0%	0	充当率 0%	0	0	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0	0	0		
一般財源		0		0	0	0		0		0	0	0		
その他の財源	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	0	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	0	0		
(10) 人件費等	換算人数(人)	9.4	9.2	9.2	9.4	9.4	9.4	9.4	9.4	9.4	9.4	9.4		
正職員人件費	81,780	81,880	81,880	81,880	83,660	83,660	83,660	83,660	83,660	83,660	83,660	83,660		
嘱託職員報酬額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
臨時職員賃金額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	81,780	81,880	81,880	81,880	83,660	83,660	83,660	83,660	83,660	83,660	83,660	83,660		
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)	817.8千円/%		818.8千円/%		1,099.06									

2. 事業の評価 (DO+CHECK)										
評価項目	事前評価				事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討 (拡充も含む))				改善検討	
(1) 事業が今必要である理由・背景は？ (事業の必要性)	昭和22年に消防組織法が施行され、これに基づき消防業務を実施している。近年の災害傾向としては、都市化に伴う高層集合住宅等の増加で複雑多様化しており、それらの災害に十分対応できる消防体制の維持及び更なる警防体制の充実・強化を図ることは、市民の安全安心を確保するために必要である。				●①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった				○要 ●不要	
	(2) 市が実施する必要性はあるか？ (市実施の必要性)	●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない (理由) ■法令等で市が実施することが定められている <input type="checkbox"/> 提供主体が市しかない <input type="checkbox"/> その他		<その他の内容>		■①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった ○②市が主導で進めなければ実効性がなかった ○③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された ○④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した ○⑤サービス水準が確保された ○⑥サービスの安定供給基盤が確保された ○⑦その他		<市実施の具体的な内容・必要性の理由> 法令により市が実施することが定められ、災害から市民を守るため必要不可欠である。		○要 ●不要
参加・協働の工夫	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容 (又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		○要 ●不要	
	市民の参加や市民との協働を工夫しているか？ (体制づくり)		○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他		なし		○①当初期待した以上 ●②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>			
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ●不要	
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他		<その他の内容> 該当なし		なし		●①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>			
(1) 目標設定は適切か？	現況値 (a) (%)	目標値 (b) (%)	目標値の妥当性のチェック		達成状況	達成率 (%)		○①目標値達成 ●②目標値未達成		
	69.4	100	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値 (と現況値の差) と同等の水準である		実績値 (f) (%)	74.5		<目標を達成した理由/未達成となった原因> 救急出場の増加により、他の管内への救急支援出場が増加したため。		
					実績値 (g) (千円)	対事業費 (%)		○①想定事業費未済 ●②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	事業費 (c) (千円)	事業費削減額 (d) (千円)	実施予定の対策		実績値 (g) (千円)	対事業費 (%)		事業費の削減対策について		
	81,880	△100	□①国・県助成制度活用 ■②現有体制での対応 □③維持管理費の削減策の実施 □④民間委託 □⑤PFI等民間資本の活用 □⑥受益者負担 □⑦その他		81,880	100		●①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>		
事業費削減率 (%)		<削減の内容>		<超過理由等>						
△0.12										
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？ (目標対費用)	目標値対事業費 (e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ●③目標値以下		○要 ●不要	
	0.12	単位	費用単位	●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費	実績値 (h)	対目標値 (%)		<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因> 救急出場の増加により、他の管内への救急支援出場が増加したため。		
		%	10万円			0.09	75			

3. 事後評価										
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ●結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	事務事業の見直しによる結合。令和4年度からは消防本部事務事業に結合し一体的に推進していく。				改善策及び展開方向					
					令和4年度からは結合後の事務事業の中で一体的に推進していく。					

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (1663), 課コード (1005), 会計種別, 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including objectives, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with multiple criteria and a detailed financial breakdown table.

3. 事後評価 - Post-evaluation section including implementation status and improvement directions.

事務事業評価表（令和3年度）

事業コード 1693 課コード 1005 会計種別 予算の種類 政策 經常 なし

1. 事業の概要 (PLAN)
(1) 事業概要: ①事業名 消防体制の強化・充実, ②部課名 消防本部・東消防署, ③事業主体 市, ④対象地区 我孫子, ⑤事業期間 ~, ⑥担当職員数 47人, ⑦事業費(人件費含む) 0千円, ⑧施策の位置づけ 70201
(2) 目的: 火災や水害などの災害から市民の生命と財産を守るため、消防施設・装備を充実し、近隣自治体や関係団体と連携を図りながら消防体制の強化を図ります。
(3) 事業内容: 消防法第4条、第16条の5及び我孫子市予防査察規程に基づき、年間定期査察計画を立て、市内防火対象物に対し、立入検査を実施する。
(4) 達成目標(期待する成果): 立入検査を実施し関係者の防火意識の向上を図る。
(5) 指標: 立入検査の実施率(立入検査実施件数/年間定期査察計画数) 58.6%
(6) 単位数: 37
(7) 事業実施上の課題と対応: 関係者の防火管理に対する認識が低いケースが見受けられるため、防火管理の徹底を図らせ、火災予防の重要性を認識させる必要がある。

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

評価項目: (1) 事業が今必要である理由・背景は? (事業の必要性) (2) 市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) (3) 市民の参加や市民との協働を工夫しているか? (体制づくり) (4) 環境に配慮して事業を進めているか? (5) 目標設定は適切か? (6) 事業費削減の工夫をしているか? (7) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か? (目標対費用)

3. 事後評価

○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ●結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)
事務事業の見直しによる結合。令和4年度からは消防本部事務事業に結合し一体的に推進していく。
令和4年度からは結合後の事務事業の中で一体的に推進していく。